

2020 年度 4 月入学

April 2020 Entrance

金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

Graduate School of Human and Socio-Environmental Studies
(Master's Course), Kanazawa University

学 生 募 集 要 項

Guidelines for Applicants

〔第 1 期募集・第 2 期募集〕

一 般 選 拔
社 会 人 特 別 選 拔
外 国 人 留 学 生 特 別 選 拔
短 期（1 年）在 学 型 選 拔
学 内 推 薦 特 別 選 拔

General Selection

Professional Special Selection

International Student Special Selection

Selection for the Short-term (1 Year) Enrollment-type System

Special Selection by recommendation for applicants within the school

金 沢 大 学

日 程（博士前期課程）

専攻	第1期募集					第2期募集				
	【出願期間】 2019年5月29日（水）～ 6月4日（火）					【出願期間】 2019年12月16日（月）～ 12月20日（金）				
	【試験日】 2019年7月6日（土）					【試験日】 2020年2月8日（土）				
	【合格者発表】 2019年7月31日（水）					【合格者発表】 2020年3月2日（月）				
	一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜	短期（1年）在学型選抜	学内特別推薦選抜	一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜	短期（1年）在学型選抜	学内特別推薦選抜
人文学専攻	●	●	●	/	/	●	●	●	/	/
経済学専攻	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
地域創造学専攻	●	●	●	●	/	●	●	●	/	/
国際学専攻	●	●	●	/	/	●	●	●	/	/

注1.出願資格によっては、出願前に出願資格審査が必要な場合があります。審査に必要な書類の提出期間は、下記のとおりです。詳細は、5出願資格事前審査を参照してください。

第1期募集:2019年5月17日(金)まで、第2期募集:2019年11月27日(水)まで

注2.試験日及び試験科目等の詳細については、8.選抜方法及び9試験日時を参照してください。

注3.「国際学専攻」の英語プログラム選抜試験については、本要項とは別に学生募集要項を作成しております。必要な方は人間社会環境研究科webサイト(http://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/admissions/adm_master/)からダウンロードしてください。

法学・政治学専攻は、2020年度から法学研究科へ改組を予定しています。
 法学研究科の募集要項は改組が決定後に作成しますので、大学webサイト(<https://www.kanazawa-u.ac.jp/>)からご確認ください。

『自然災害により被災された受験生の皆様へ』

金沢大学では、自然災害等の被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会を確保するため、入学検定料免除の特別措置を講じます。対象となる自然災害及び被災地域など、免除に関する詳細につきましては、金沢大学Webサイトをご覧ください。

金沢大学(入試情報)Web サイト:<https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>

入学検定料の免除を希望される方は、出願前に本学学生部入試課までご連絡ください。

連絡先 TEL: 076-264-5180 E-mail: nyushi-kafuku@adm.kanazawa-u.ac.jp

目 次

1	人間社会環境研究科（博士前期課程）について	1
2	学生受入方針（アドミッション・ポリシー）	
	【一般選抜，社会人特別選抜，外国人留学生特別選抜，学内推薦特別選抜】	2
	【短期（1年）在学型】	4
3	募集人員	6
4	出願資格	6
5	出願資格事前審査	8
6	出願期間	8
7	出願手続	8
8	選抜方法	
	（1）一般選抜，社会人特別選抜，外国人留学生特別選抜	13
	（2）短期（1年）在学型選抜	24
	（3）学内推薦特別選抜	25
9	試験日時	25
10	試験場	26
11	合格者発表	26
12	入学手続	26
13	入学時に必要な経費	26
14	授業料の納入	26
15	入学後に必要な経費	27
16	共通事項	
	（1）標準修業年限	27
	（2）大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例制度	27
	（3）長期履修制度	28
	（4）心身に障がいのある志願者等の事前相談	28
	（5）奨学金について（外国人留学生対象）	28
	（6）注意事項	28
	（7）過去の試験問題の公表	28
17	個人情報の保護	29
18	参考資料	29
19	主な授業科目及び担当教員	
	（1）人文学専攻	30
	（2）経済学専攻	33
	（3）地域創造学専攻	34
	（4）国際学専攻	37

金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）学生募集要項

1 人間社会環境研究科（博士前期課程）について

人間社会環境研究科は2006年4月に発足しました。本研究科の目的は、グローバル化、情報ネットワーク化、少子高齢化等の急速な進展に伴い、「人間」「社会」に関する既存の専門分野（人文学、経済学）並びに「環境」という概念で包括される学際的な分野（地域創造学、国際学）の知見をふまえた総合的な研究・教育のニーズに応えようとするところにあります。

人間社会環境研究科の3つの目標を述べましょう。第一に、専門的知識、方法、技術を修得し、政策立案と問題解決能力を有した高度専門職業人の育成及び自国の発展と国際交流に寄与できる人材の養成です。これは、社会が大学院教育に求める多様なニーズに対応しています。第二に、「人間社会環境」に関する教育研究拠点の形成です。それは、北陸地方はもちろん、日本全国における先駆けとしての学際・総合型の人文・社会系研究を根付かせ、発展させることを意味します。そして第三は、教育研究を通じた地域及び国際貢献であり、社会人学生と留学生の受入の積極的な推進などを通して、大学院レベルでの教育研究の成果を国内外の社会に還流させます。

以下に、専攻及びコース・プログラムの編成と授与する学位を示しますが、わたくしたちの目標は、既存の分野の学問を継承しつつ、現代的問題に的確に対処できる新たな知の営みを創造していくことです。

専攻及びコース・プログラムの編成、授与する学位

博士前期課程

専攻名	コース・プログラム名	授与する学位（修士）
人文学専攻	学際総合型プログラム（以下5プログラム） 認知科学 ヨーロッパ・東アジア文化圏史 比較文学 ジェンダー学 文化資源学	文学 学術
	専門深化型プログラム（以下17プログラム） 哲学、心理学、社会学、地理学 日本史学、東洋史学、西洋史学、考古学 日本語学日本文学、中国語学中国文学、英語学英米文学、 ドイツ語学ドイツ文学、フランス語学フランス文学、言語学 文化遺産学、比較文化学、文化人類学	
経済学専攻	経済理論・政策コース（短期（1年）在学型は、地域政策プログラム） 国際社会・経済コース 経営情報コース（短期（1年）在学型は、経営情報プログラム）	経済学 経営学 学術
地域創造学専攻	地域創造学コース 教育支援開発学コース	地域創造学 学術

専攻名	コース・プログラム名	授与する学位(修士)
国際学専攻	国際関係・地域研究コース 国際関係学／アジア地域研究／米英地域研究／ヨーロッパ地域研究 日本語教育・日本文化研究コース 日本語教育学・日本語学・日本文化学	国際学 学術

2 学生受入方針（アドミッション・ポリシー）

【一般選抜，社会人特別選抜，外国人留学生特別選抜，学内推薦特別選抜】

はじめに

人間社会環境研究科（博士前期課程）は、「人間」「社会」「環境」という多分野横断的な領域で活躍できる創造性豊かな人材の養成をめざします。したがって、研究科は、それぞれの学問分野における高い専門的能力を有するだけでなく、それを基礎に、学際性・総合性を生かした視点から先端的な研究をさらに進めようとする学生を求めます。

さまざまな経歴・志向を持った学生を受け入れるために、一般選抜，社会人特別選抜，外国人留学生特別選抜，英語による特別選抜，そして学内推薦特別選抜と，多様な選抜方法を実施します。また，受験機会を増やすために，選抜方法によっては第1期と第2期に分けて2回の試験を行います。

一般選抜では，大学卒業後に入学を希望する学生を主な対象として，将来的に研究者を志望する者，幅広く専門的知識を修得する者や専門的職業人をめざす者，等について十分な学力と資質が備わっているかを判定します。社会人特別選抜では，大学卒業後，一定の年限を経過し，社会人として様々な経験と知識を蓄積してきた人を対象に，一定の学力の有無や問題意識の明確性等について判定します。そして，経済学専攻及び地域創造学専攻では，社会人が職業上の経験に基づく研究課題に取り組み，在学期間1年で修了することを基本とする短期在学型の志望者の選抜を行います。外国人留学生特別選抜では，様々な国からの留学希望者を対象に，一定の日本語能力および専門的学力について判定します。学内推薦特別選抜は，経済学専攻において実施され，当該専攻に係わりの深い金沢大学の関係学類の学生を対象にして，その成績優良者に筆記試験を免除するものです。英語による特別選抜は，経済学専攻及び国際学専攻においてのみ実施されるもので，英語により出題し英語により解答する選抜方式です。この選抜方式は，外国人留学生のみならず日本人学生をも対象にします。

人間社会環境研究科（博士前期課程）では，人文学専攻，経済学専攻，地域創造学専攻そして国際学専攻の4専攻の下に多様なプログラムとコースが設けられており，入試は専攻単位に実施されます。どのような教育目的・教育目標の下に，いかなる学生を受け入れようとしているのかという点については，以下に専攻別のアドミッション・ポリシーを掲げますので，ご覧ください。

【人文学専攻】

1. 求める人材像

人文学専攻は，人間科学，歴史学，言語・文学，文化資源学に関する特定領域又は横断的新領域について，（1）基礎知識と基礎技能を有し，（2）新しい問題の発見と解決に必要な思考力・判断力・表現力等を持つ，（3）主体的にかつ周囲と協働して学ぶ学生を求めます。入学者選抜試験では，専門科目の筆記試験で主に（1）と（2）を，口述試験で主に（2）と（3）を，また筆記試験の外国語科目若しくは専門科目の中で外国語文献の読解能力（一部のプログラムを除く）を評価します。研究者をめざす学生だけでなく，様々な分野での専門的職業人を目指す学生，留学生や社会人を積極的に受け入れます。

※本専攻では，学生の履修の道すじを“プログラム”と呼びます。プログラムには，領域横断的研究領域である「学際総合型」と従来型研究領域である「専門深化型」の2タイプがあります。「学際総合型」は5プログラム，「専門深化型」は17プログラムによって構成されます。学生は入試時にこれら22のプログラム

の中から1つを選択し、入試後はプログラムメニューを中心に履修します。

2. 入学に際し必要な基礎学力

入学を志す学生は、志望する専攻プログラム（専門分野）において学ぶ専門的知識の理解に必要な当該分野の基礎知識、および専門的研究を進めるために必要な基礎的技術を身につけていることが求められます。一般にそれは、志望する研究分野に関する学士課程レベルの専門知識、関連知識、研究技術です。

【経済学専攻】

1. 求める人材像

経済学専攻は、地域社会や国際社会が抱える諸問題に対して強い問題意識をもつ人々の中でも特に経済学あるいは経営学を中心とする領域に関心をもつ者、またはこれらの学問領域に関連して社会や文化、歴史等のあり様に関心をもつ者を求めます。

入学者には、(1)経済学や経営学、または関連諸領域の基礎知識と基礎的分析能力、(2)論理的思考力・表現力、(3)専門性の高い文献を読みこなす英語力（一部の研究領域を除く）、および、(4)主体性と積極性、が求められます。入学者選抜試験では、専門科目の論述試験で(1)と(2)を、外国語の論述試験で(2)と(3)を、面接試験で(2)と(4)を評価します。理論的・実証的研究能力の向上を目指す日本人学生・留学生、また教員、シンクタンク職員、ジャーナリスト等の専門的職業人に加え、社会人としての経験に即した課題に対し経済学あるいは経営学の知見を応用することによって解決策を探ろうとする行政やNPO、企業等の専門的職業人、実務家も大いに歓迎します。

なお、コース配属は、入学後、指導教員と相談のうえ、決定します。

2. 入学に際し必要な基礎学力

大学院前期課程においては、自らの研究テーマを設定し最終的に修士論文を完成させ論文審査に合格することが最終目標となります。そのため経済学専攻では、経済（マクロ経済、ミクロ経済）や経営に関する事象を理解分析できる基礎知識と論文作成のための論理展開、文章構築能力を身につけていることが望まれます。

【地域創造学専攻】

1. 求める人材像

地域創造学専攻は、地域の特性に応じて個別的な解決を導く専門的・学際的な「地域創造力」を備えた高度専門職業人及び研究者の養成を目標としています。地域創造学コースでは地域の諸課題の解決に取り組む人材の養成を、教育支援開発学コースでは学校現場でチームを組んで教育を支援する人材を養成します。

学士課程教育で培った基礎的な地域創造力を伸ばし、地域社会の多様な諸問題に対応できる力を修得する意欲を持った学生の方を受け入れます。また、職場や地域社会で感じている各種の地域課題を客観的・学術的に捉え直し、専門的・学際的な知見から問題解決に役立つ知識と方法の修得を目指す社会人、日本における地域課題とその解決について学び、母国の地域創造のリーダーとして働く意欲を持った外国人留学生の方を受け入れます。

2. 入学に際し必要な基礎学力

自ら研究テーマを設定し、主体的な研究遂行によって修士論文を完成させ、論文審査に合格するために、次の基礎学力と能力が必要です。

- ・研究課題に対する高い関心と深い探究心
- ・研究課題にアプローチする研究分野・領域の基礎的知識
- ・地域の現状を正確に把握する調査と収集した資料を正確に分析する基礎的技術

- ・関連する多分野の文献・図書を読み，多角的かつ批判的に物事を捉える能力
- ・地域に暮らす人々を理解し，繋がり，合意形成を築くための，基礎的なコミュニケーション能力

【国際学専攻】

1. 求める人材像

いずれのコースにおいても，国際社会の諸問題や異文化への強い関心と，実践的な外国語の運用能力を有する人を求めています。

国際関係・地域研究コースでは，外国語コミュニケーション能力をいっそう高めながら，グローバルな視野から人間と社会についての普遍的な真実を探究するとともに，激変する複雑な社会状況の下で諸国民が直面する多様な問題の解決策を考察するカリキュラムにより，国際関係業務において貢献しうる人材を養成する教育を行います。したがって，国際政治経済，比較政治，各地域の文化等の専門知識を有する人を求めています。なお，本コースでは英語による授業を中心に履修を希望する学生のために英語プログラム<International Studies Program>を用意しています。当プログラムは入試も英語で行います。

日本語教育・日本文化研究コースでは，英語を中心とした外国語コミュニケーション能力をいっそう高めるとともに，すでに身に付けた日本語，日本語教育，日本文化等に関する知識と教授能力をより高度化するカリキュラムを提供します。それにより，高度職業人として外国人のための日本語教育に貢献しうる人材，また国際交流分野で活躍する人材を養成する教育を行います。したがって，日本語による豊かなコミュニケーション能力を有し，日本語，日本文化およびその教授法に関する基本的知識を備えている人を求めています。日本語教師経験を有する社会人や外国人留学生も積極的に受け入れます。

2. 入学に際し必要な基礎学力

いずれのコースにおいても，修士論文執筆のための文献検索や資料収集のための基礎的能力を必要とするとともに，学部での卒業論文執筆経験を基礎とした論文執筆のための基礎学力を必要とします。

国際関係・地域研究コースでは，さらに以下のような基礎学力を必要とします。

- ・学部レベルの勉学・研究により他民族・異文化の理解のための探求，実地体験をし，国際社会の諸問題について批判に耐えうる見解を有している。
- ・国際関係業務について貢献しうる知識・能力を有している。
- ・外国人と十分な意思疎通ができる実践的な外国語の運用能力を有している。

日本語教育・日本文化研究コースでは，さらに以下のような基礎学力を必要とします。

- ・入学を希望している専門分野に応じた日本語学，日本語教育学，あるいは日本文化学の基礎的な知識を有している。
- ・日本語教育分野では，日本語教授法の知識と基本的な運用力を有している。
- ・当コースの勉学に必要なレベルの英語力を有するとともに，外国人留学生については，日本語能力試験N1（旧1級）合格レベルの日本語力を有している。

【短期（1年）在学型選抜】

はじめに

人間社会環境研究科（博士前期課程）は，2年以上の在学期間を必要とする標準在学型のほか，仕事を続けながら短期間で修士号学位を取得できる短期（1年）在学型制度を，経済学（経済理論・政策コース及び経営情報コース）そして地域創造学の各専攻に設けています。

短期（1年）在学型制度は，自治体，企業，学校，非営利組織，その他において社会人としての経験をお持ちの方が，それぞれの仕事を通じて育てた問題，関心や蓄積した資料をふまえて，一定の理論的整理を行いながら論文（リサーチペーパー）をまとめることを念頭においています。修了後，後期課程への進学を想定するものではありません。後期課程への進学を希望される場合は，通常の社会人特別選抜に応募してください。

以下、専攻毎の教育研究内容をふまえたアドミッション・ポリシーを掲載しますので、参考にしてください。

【経済学専攻】

1. 求める人材像

経済学専攻の経済理論・政策コース，経営情報コースには，2年以上の在学期間を必要とする標準在学型プログラムの他に，仕事を続けながら，1年間で修士号を取得することのできる短期在学型プログラムが設けられています。本プログラムは，地域諸問題や地域政策，あるいは組織運営等にかかわりながら，実践的な調査や統計・計量手法にもとづく分析等によって課題の解明を志す社会人の方を受け入れています。

経済学専攻の短期在学プログラムは，研究課題に応じて下記の2つから選択できるようになっています。どちらのプログラムも，理論的知識と実践的能力を同時に修得できるように科目群が用意されています。

・地域政策プログラム

自治体や非営利組織，企業等で社会人としての経験を持ち，地域問題の解明や地域政策立案に関わる研究に取り組み，実践的能力の向上を目指す方を対象としています。

入学後は<経済理論・政策コース>に所属することになります。

・経営情報プログラム

企業やNPO，自治体等において社会人としての経験を持ち，組織運営やマネジメントにかかわる諸問題の解明と解決にかかわる研究に取り組み，実践的能力の向上を目指す方を対象としています。

入学後は，<経営情報コース>に所属することになります。

2. 入学に際し必要な基礎学力

大学院前期課程においては，自らの研究テーマを設定し最終的に修士論文を完成させ論文審査に合格することが最終目標になります。そのため経済学専攻では，経済（マクロ経済，ミクロ経済）や経営に関する事象を理解分析できる基礎知識と論文作成のための論理展開，文章構築能力を身につけていることが望まれます。

【地域創造学専攻】

1. 求める人材像

地域創造学専攻は，地域の特性に応じて個別的な解決を導く専門的・学際的な「地域創造力」を備えた高度専門職業人及び研究者の養成を目標としています。地域創造学コースでは地域の諸課題の解決に取り組む人材の養成を，教育支援開発学コースでは学校現場でチームを組んで教育を支援する人材を養成します。

自治体や企業，非営利組織の職場等において感じている各種の地域課題を客観的・学術的に捉え直し，地域課題解決を学ぶ様々な分野の仲間たちや教員との論理的思考トレーニングやディベート手法等を活用して，業務遂行上に必要な技術の修得とキャリアアップを目指す意欲ある社会人の方を受け入れます。

2. 入学に際し必要な基礎学力

- ・研究対象とする検討課題について，地域社会への高い関心と深い探究心をもって，明確に把握している。
- ・研究対象とする検討課題について，専門的に学修する研究分野・領域の基礎的知識を修得している。
- ・地域の現状を正確に把握するために必要とされる調査分析に関する基礎的な能力を身に付けている。
- ・多角的かつ批判的に物事を捉える能力を養うため，関連する多分野の文献・図書を講読し，幅広い教養を身に付けている。
- ・地域に暮らす人々を理解し，繋がり，合意形成を築くための，基礎的なコミュニケーション能力を身に付けている。

3 募集人員

[第1期募集, 第2期募集とも2020年4月入学です]

専攻名	第1期募集	第2期募集	計
人文学専攻	10名 (※3)	13名 (※6)	23名
経済学専攻	3名 (※1, ※2, ※3, ※4)	3名 (※1, ※2)	6名
地域創造学専攻	7名 (※1, ※3)	7名	14名
国際学専攻	5名 (※3, ※5)	5名 (※5)	10名
合計	25名	28名	53名

【注】募集人員には、4月入学の「一般選抜」、「社会人特別選抜」、「外国人留学生特別選抜」の他、下記選抜試験の募集人員（それぞれ若干名）を含みます。なお、※3～6の学生募集要項は、本要項とは別にありますので詳細は人間社会環境研究科Webサイトを参照してください。

※1：短期（1年）在学型選抜（4月入学）、※2：学内推薦特別選抜（4月入学）、

※3：一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜（10月入学）、

※4：数量経済学プログラム（10月入学）、※5：英語プログラム選抜試験（4月入学、10月入学）、

※6：文化資源学プログラム（4月入学）

4 出願資格

各選抜の出願資格は、該当選抜欄に●のある号になります。

各選抜に出願することができる者は、該当選抜欄の●のある号のいずれかに該当する者としてします。

その他、下記選抜においては、次の出願資格を満たす必要があります。

社会人特別選抜：2020年3月31日までに通算3年以上の職歴を有する者

外国人留学生特別選抜：日本の国籍を有しない者

短期（1年）在学型選抜：2020年3月31日までに通算3年以上の職歴を有し、在職する勤務先の所属長等の承諾を受けている者

学内推薦特別選抜の出願資格については、次のページを参照してください。

一般選抜	社会人特別選抜※	外国人留学生特別選抜	短期（1年）在学型選抜※	出願資格
				※社会人特別選抜及び短期（1年）在学型選抜においては、（1）～（6）、（8）の出願資格の見込者を除きます。
●	●	●	●	（1）学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学を卒業した者及び2020年3月31日までに卒業見込みの者
●	●	●	●	（2）学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び2020年3月31日までに授与される見込みの者
●	●	●	●	（3）外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2020年3月31日までに修了見込みの者
●	●	●	●	（4）我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者及び2020年3月31日までに修了見込みの者

●	●	●	●	(5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2020年3月31日までに修了見込みの者
●	●	●	●	(6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が三年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2020年3月31日までに授与される見込みの者
●	●	●	●	(7) 文部科学大臣の指定した者
●	●	●	●	(8) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2020年3月31日までに修了見込みの者
●		●		(9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学の大学院に入学した者であって、当該者を本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
●		●		(10) 2020年3月31日までに学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者、又は我が国において、外国の大学における15年の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者であって、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者
●	●	●	●	(11) 本研究科において、個別の入学資格審査により、出願資格（1）に定める者と同等以上の学力があると認めた者で、2020年3月31日までに22歳に達する者

学内推薦特別選抜の出願資格及び出願要件

出願は、第1期募集もしくは第2期募集のどちらか一方となります。

【経済学専攻】 次の事項に該当し、出願要件を満たす者

- (1) 出願時において、金沢大学人間社会学域経済学類4年次に在学し、2020年3月31日までに卒業見込みの者であり、かつ、学業成績、人物ともに優れ、指導教員又は本専攻において指導を予定している教員の推薦を受けている者

出願要件

- | |
|--|
| <p>(1) 3年次後期までの専門科目の成績について、通算GPA値が2.2以上となる者。
 (2) 卒業までの在学期間が4年を超えない者（ただし、休学期間は除く）。</p> |
|--|

5 出願資格事前審査

4 出願資格の(6)、(9)、(10)、(11)により出願しようとする者は、出願前に個別に出願資格審査を行いますので、下記期限までに次の書類を金沢大学人間社会系事務部学生課入試係へ提出してください。

第1期募集：2019年5月17日(金)まで

第2期募集：2019年11月27日(水)まで

なお、郵送の場合は封筒の表に「人間社会環境研究科(博士前期課程)第○期募集出願資格事前審査申請書在中」と朱書きしてください。

ア 出願資格事前審査申請書(本研究科所定用紙)

イ 最終学校の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書

ウ 最終学校の成績証明書

エ 最終学校の教育課程表及びシラバス又はこれに相当するものの写し

オ 志望理由書(様式随意, 800字程度)

カ 研究業績調書(本研究科所定用紙)

キ 実務経験や研究活動の内容を表す書面(様式随意, 著書・論文・推薦書等)

ク 返信用封筒(定形の封筒に受信場所・氏名を明記し, 792円分(書留速達)の切手を貼付してください。)

【注】1 審査結果は、第1期募集については2019年5月下旬までに、第2期募集については2019年12月中旬までに通知します。提出された書類は返却しません。

2 外国の学校及び機関等の証明書等には、その和訳及び説明書を添付してください。

6 出願期間

区分	期 間	備 考
第1期募集	2019年5月29日(水)～6月4日(火) 17:00	提出書類受付時間 期間中9時から17時まで (土曜日, 日曜日を除く)
第2期募集	2019年12月16日(月)～12月20日(金) 17:00	

【注】郵送による場合も期限内に必着(出願期間最終日の前日の発信局日付印のある速達書留は有効)とします。

※「受験票」、「受験上の注意」及び「試験会場」については、第1期募集は2019年6月11日頃、第2期募集は2020年1月7日頃に発送します。

7 出願手続

出願書類用紙は、下記URLに掲載の様式(電子データ)をダウンロードして、A4判の用紙に印刷・作成のうえ、出願してください。

金沢大学人間社会環境研究科Webサイト>入試情報>博士前期課程

http://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/admissions/adm_master/

出願書類は、郵送でも持参でも受け付けます。郵送の場合は、一括して市販の封筒に入れ、封筒の表に「人間社会環境研究科(博士前期課程)第○期募集入学願書在中」と朱書の上、必ず「簡易書留速達」にて送付してください。

なお、出願書類に不備がある場合は受理しません。

(出願書類提出先) 〒920-1192 金沢市角間町

金沢大学人間社会系事務部学生課入試係

書類等		摘 要
①	入 学 志 願 票	本研究科所定の用紙に必要事項を記入してください。 なお、確認用チェックボックス用紙もあわせて記載の上、提出してください。
②	受 験 票 ・ 写 真 票	本研究科所定の用紙に必要事項を記入し、写真票に写真1枚（出願前3か月以内に、上半身、脱帽、正面向き、無背景で撮影したもの、縦4cm×横3cm）を所定の欄に貼付してください。
③	卒 業（見 込）証 明 書 （コピーの提出不可）	本研究科への出願資格を満たす大学の卒業（見込）証明書を提出してください。 外国の大学の場合は、大学が発行する英語または日本語による卒業（見込）証明書を提出してください。 大学改革支援・学位授与機構で出願資格を得る者は、学位授与証明書（学位授与申請受理証明書）等学位取得に係る証明書すべてを提出してください。
④	成 績 証 明 書 （コピーの提出不可）	本研究科への出願資格を満たす大学の成績証明書を提出してください。 外国の大学の場合は、大学が発行する英語または日本語による成績証明書を提出してください。 大学に編入学した者は、短期大学又は高等専門学校等の成績証明書もあわせて提出してください。
⑤	研 究 計 画 書 【様式1】	本研究科所定の用紙に、入学後の希望研究テーマ、これまでの研究分野、志望の動機、今後の研究計画について、具体的に記入してください。 専攻により字数制限があります（経済学専攻：1,500字以上）。 1枚で収まらない場合、2枚目を使用してください。
⑥	入学検定料証明書振込 金 証 明 書 ※国費外国人留学生は、 入学検定料を納入する 必要はありません。入学 志願票の該当欄にチェッ クしてください。	入学検定料 30,000円 入学検定料振込後、「入学検定料振込金証明書」に取扱金融機関の領収印が押印されていることを確認の上、入学志願票の所定欄に貼付してください。 <納入方法> 本要項に添付の振込依頼書に必要事項を記入の上、「電信扱」が利用できる金融機関（銀行・信用金庫・信用組合・農協・漁協）の窓口から振り込んでください。（ゆうちょ銀行・郵便局からの振込はできません。）振込手数料は、志願者負担となります。なお、北陸銀行本支店からの振込みの場合、手数料はかかりません。 （注）（1）金融機関の窓口受付終了時刻までに振り込んでください。また、土・日・祝日は休業日です。期日・時間に余裕をもって納入してください。 （2）ATM（現金自動預払機）、携帯電話、パソコン等からは振り込まないでください。
⑦	住 所 票	本研究科所定の用紙に受信場所、氏名を記入してください。
⑧	受 験 票 送 付 用 封 筒	長3封筒に受信場所、氏名を記入し、郵便切手372円（速達）を貼付してください。

※以下の書類は、該当者のみが提出してください。

書 類 等	摘 要
<p>⑨</p> <p>※一般選抜（経済学専攻，国際学専攻），社会人特別選抜（国際学専攻），外国人留学生特別選抜（国際学専攻）のみ</p> <p>外国語試験の証明書</p>	<p>【一般選抜の経済学専攻志願者】 以下の証明書の原本を試験日当日に必ず持参してください。これらの証明書の原本の持参がない場合，試験を受けることができません。複数の試験を受けている場合は，すべての証明書を提出してください。 TOEIC (L&R), TOEFL-iBT, TOEFL-PBT, IELTSのスコアの公式証明書，または実用英語技能検定（英検）の合格証明書（出願期間最終日から起算して2年以内に実施されたもの）ただし，TOEIC (L&R)-IP・TOEFL-ITPの成績証明書は使用できません。</p> <p>【一般選抜及び社会人特別選抜の国際学専攻志願者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際関係・地域研究コースの志願者（第1期，第2期募集） TOEIC (L&R), TOEFL-iBT もしくはIELTS のスコアの公式証明書を提出してください。 ・日本語教育・日本文化研究コースの志願者（第1期募集のみ） TOEIC (L&R), TOEFL-iBT もしくはIELTS のスコアの公式証明書，または実用英語技能検定（英検）の合格証明書のコピーを提出してください。 両コースとも証明書の試験時期は問いません。 ただし，TOEIC (L&R)-IP の成績証明書は使用できません。 <p>【外国人留学生特別選抜の国際学専攻志願者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際関係・地域研究コースの志願者のみ（第1期，第2期募集） TOEIC (L&R), TOEFL-iBT もしくはIELTS のスコアの公式証明書を提出してください。証明書の試験時期は問いません。 ただし，TOEIC (L&R)-IP の成績証明書は使用できません。
<p>⑩</p> <p>※一般選抜（人文学専攻，国際学専攻），社会人特別選抜（国際学専攻）及び外国人留学生特別選抜（人文学専攻，国際学専攻）のみ</p> <p>卒業論文</p>	<p>【一般選抜の人文学専攻・国際学専攻志願者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文学専攻・国際学専攻の第1期募集の既卒志願者と第2期募集の志願者 卒業論文（写しでも可）又はそれに代わる研究論文もしくはレポート （人文学専攻：2,000字以上，ただし欧文の場合は500語以上 国際学専攻：2,000字以上，ただし欧文の場合は1,500語以上） を3部提出してください。（入学後の研究テーマに即した専門知識，研究能力の有無が判断できるものが望ましい） <p>【社会人特別選抜の国際学専攻志願者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際学専攻の第1期募集の既卒志願者と第2期募集の志願者 卒業論文（写しでも可）又はそれに代わる研究論文もしくはレポート （2,000字以上，ただし欧文の場合は1,500語以上）を3部提出してください。（入学後の研究テーマに即した専門知識，研究能力の有無が判断できるものが望ましい） <p>【外国人留学生特別選抜の人文学専攻・国際学専攻志願者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文学専攻・国際学専攻の第1期募集の既卒志願者と第2期募集の志願者 卒業論文（写しでも可）又はそれに代わる研究論文もしくはレポート （人文学専攻：2,000字以上，ただし欧文の場合は500語以上 国際学専攻：2,000字以上，ただし欧文の場合は1,500語以上） を3部提出してください。（入学後の研究テーマに即した専門知識，研究能力の有無が判断できるものが望ましい）

⑪	<p>※短期（1年）在学型選抜、 14条特例適用希望者のみ</p> <p>在 職 証 明 書 【様式2】</p>	<p>本研究科所定の用紙により、勤務先の所属長等が作成（在職期間明記）したものを提出してください。</p>
⑫	<p>※短期（1年）在学型選抜のみ</p> <p>受 験 承 諾 書 【様式3】</p>	<p>本研究科所定の用紙により、勤務先の所属長等が作成したものを提出してください。</p>
⑬	<p>※社会人特別選抜（人文学専攻、経済学専攻、地域創造学専攻）及び短期（1年）在学型選抜（地域創造学専攻）のみ</p> <p>研究経過・実績報告書</p>	<p>4,000字程度、A4判、様式随意</p> <p>研究しようとする分野・テーマについてこれまでどんなことを学習してきたのか、また入学後どのような研究を計画しており、それに関連する先行研究等にどの程度アプローチしてきたのかを日本語で明確に記入してください。この他に、参考資料として、これまでの研究業績等（公表、未公表を問わない）の提出を認めます。</p>
⑭	<p>※学内推薦特別選抜のみ</p> <p>推 薦 書 【様式4】</p>	<p>本研究科所定の用紙に、指導教員又は本専攻における指導予定教員が作成・厳封したものを提出してください。（パソコン等で作成したものでも構いません。）</p>
⑮	<p>※外国人留学生のみ</p> <p>在留カードの写し及び パスポートの写し</p>	<p>出願書類には、この証明書等に記載の氏名を使用してください。</p> <p>日本に在留している外国人は、在留カード（表・裏）の写し及びパスポート（国籍、氏名、性別、生年月日、在留資格が記載されたページ）の写しを提出してください。</p> <p>日本に在留していない外国人は、パスポートの写しのみを提出してください。</p>
⑯	<p>※該当者のみ</p> <p>戸籍抄本</p>	<p>改姓等の理由で成績証明書等の記載記載事項が出願時と異なっている場合は、戸籍抄本を1部提出してください。</p>

<提出が必要な書類一覧>

●は提出が必要な書類，◎は場合により提出が必要な書類もしくは当日持参する書類を示します。
 詳細は，7出願手続の各書類の摘要欄を参照してください。

専攻	選抜区分	提出書類									
		①入学志願票 ②受験票・写真票 ③卒業（見込）証明書 ④成績証明書 ⑤研究計画書【様式1】 ⑥入学検定料振込金証明書 （国費留学生を除く） ⑦住所票 ⑧受験票送付用封筒	⑨外国語試験の 証明書	⑩卒業論文 （3部）	⑪在職証明書 【様式2】	⑫受験承諾書 【様式3】	⑬研究経過・実 績報告書	⑭推薦書 【様式4】	⑮在留カードの 写し及びパス ポートの写し	⑯戸籍抄本	
人文学専攻	一般選抜	●	—	◎	—	—	—	—	◎外国人の 志願者	◎該当者のみ	
	社会人特別選抜	●	—	—	◎	—	●	—			
	外国人留学生特別選抜	●	—	◎	—	—	—	—	●		
経済学専攻	一般選抜	●	◎	—	—	—	—	—	◎外国人の 志願者		
	社会人特別選抜	●	—	—	◎	—	●	—			
	外国人留学生特別選抜	●	—	—	—	—	—	—	●		
	短期（1年）在学型選抜	●	—	—	●	●	—	—	◎外国人の 志願者		
	学内推薦特別選抜	●	—	—	—	—	—	●			
地域創造学専攻	一般選抜	●	—	—	—	—	—	—	◎外国人の 志願者		
	社会人特別選抜	●	—	—	◎	—	●	—			
	外国人留学生特別選抜	●	—	—	—	—	—	—	●		
	短期（1年）在学型選抜	●	—	—	●	●	●	—	◎外国人の 志願者		
国際学専攻	一般選抜	●	◎	◎	—	—	—	—	◎外国人の 志願者		
	社会人特別選抜	●	◎	◎	◎	—	—	—			
	外国人留学生特別選抜	●	◎	◎	—	—	—	—	●		

8 選抜方法

(1) 一般選抜，社会人特別選抜，外国人留学生特別選抜

入学者の選抜は，筆記試験，口述試験，研究計画書及び出身大学の成績等を総合して行います。
専攻ごとの選抜方法は以下のとおりです。

人文学専攻

◆学際総合型プログラム

i) 《一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜》【第1期募集】【第2期募集】共通

プログラム名	筆 記 試 験		口述試験
	外国語科目	専門科目	
認 知 科 学		別表1-①から入学後専攻しようとする1科目を選択	提出した研究計画書及び受験した専門科目を中心に行います。
ヨーロッパ・東アジア文化圏史			
比較文学			
ジェンダー学			
文化資源学			

別表1-①

専門科目	備 考
認知科学	英語の文献読解能力に関する問題を含むことがあります。
ヨーロッパ・東アジア文化圏史	選択問題によって構成されます。「日本史学」「東洋史学」「西洋史学」の各分野のうち，2分野の問題（史料や外国語文献の読解を含むことがあります）から2題を選択します。
比較文学	共通問題と選択問題によって構成されます。共通問題は比較文学に関する概説的な小論文問題で，全受験生必須です。選択問題は，「日本文学」，「中国文学」，「英米文学」，「ドイツ文学」，「フランス文学」の分野から問題を出題します（2分野を選択）。*
ジェンダー学	共通問題と選択問題によって構成されます。共通問題はジェンダー学に関する概説的な問題で英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。全受験生必須です。 選択問題は「文学・文化学的アプローチ」と「社会科学的アプローチ」から各1題，計2題の中から1題を選択します。
文化資源学	選択問題によって構成されます。「文化遺産学」，「比較文化学」，「文化人類学」の各分野各2題，計6題の中から3題を選択します。

*の分野については，事前に入学志願票にて選択します。

◆専門深化型プログラム

i) 《一般選抜》【第1期募集】

プログラム名	筆記試験		口述試験
	外国語科目	専門科目	
哲学		別表1-②から入学後専攻しようとする1科目を選択	提出された研究計画書及び受験した専門科目を中心にを行います。
心理学			
社会学			
地理学			
日本史学			
東洋史学			
西洋史学			
考古学			
日本語学 日本文学	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語のうち1科目選択		
中国語学 中国文学	英語, ドイツ語, フランス語のうち1科目選択		
英語学 英米文学	ドイツ語, フランス語のうち1科目選択		
ドイツ語学 ドイツ文学	英語, フランス語のうち1科目選択		
フランス語学 フランス文学	英語, ドイツ語, 中国語のうち1科目選択		
言語学	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語のうち1科目選択		
文化遺産学			
比較文化学			
文化人類学			

別表1-②

専門科目	備考
哲学	英語文献および外国語文献(英語, ドイツ語, フランス語から1か国語を選択)の読解問題を含みます。辞書類を貸与する場合があります。
心理学	英語文献読解問題を含みます。
社会学	英語文献読解問題を含みます。
地理学	英語文献読解問題を含みます。 辞書類を貸与する場合があります。
日本史学	英語文献読解問題を出題することがあります。 関係史料の読解を含みます。
東洋史学	研究を進める上で必要となる外国語文献及び関係史料の読解問題を含みます。
西洋史学	

専門科目	備 考
考古学	英語文献読解問題を含みます。
日本語学日本文学	「日本古典文学」、「日本近代文学」、「日本語学」の3分野より2分野の問題を選択させます。
中国語学中国文学	
英語学英米文学	
ドイツ語学ドイツ文学	「ドイツ語読解力」、「ドイツ語表現力」、「ドイツ語学」、「ドイツ文学」の4分野について出題します。「ドイツ語学」、「ドイツ文学」については、そのうち1分野を選択します。
フランス語学フランス文学	「フランス語読解力」、「フランス語表現力」、「フランス語学」、「フランス文学」の4分野について出題します。「フランス語学」、「フランス文学」については、そのうち1分野を選択します。
言語学	英語の文献読解を含みます。
文化遺産学	英語文献読解問題を含みます。
比較文化学	英語文献読解問題を含みます。
文化人類学	英語文献読解問題を含みます。

ii) 《一般選抜》【第2期募集】

プログラム名	筆 記 試 験		口述試験
	外国語科目	専門科目	
哲 学		別表1-③から入学後専攻しようとする1科目を選択	①提出された卒業論文又はそれに代わる研究論文若しくはレポート ②提出された研究計画書 ③受験した専門科目 以上を中心に行います。
心 理 学			
社 会 学			
地 理 学			
日 本 史 学			
東 洋 史 学			
西 洋 史 学			
考 古 学			
日 本 語 学			
日 本 文 学			
中 国 語 学			
中 国 文 学			
英 語 学			
英 米 文 学			
ド イ ツ 語 学			
ド イ ツ 文 学			
フ ラ ン ス 語 学			
フ ラ ン ス 文 学			
言 語 学			
文 化 遺 産 学			
比 較 文 化 学			
文 化 人 類 学			

別表1-③

専門科目	備 考
哲学	英語文献および外国語文献（英語、ドイツ語、フランス語から1か国語を選択）の読解問題を含みます。辞書類を貸与する場合があります。
心理学	英語の文献読解力に関する問題を含みます。
社会学	英語の文献読解力に関する問題を含みます。
地理学	英語の文献読解力に関する問題を含みます。 辞書類を貸与する場合があります。
日本史学	関係史料の読解を含みます。
東洋史学	研究を進める上で必要となる外国語文献及び関係史料の読解問題を含みます。
西洋史学	
考古学	英語の文献読解力に関する問題を含みます。
日本語学日本文学	「日本古典文学」、「日本近代文学」、「日本語学」の3分野より2分野の問題を選択させます。
中国語学中国文学	
英語学英米文学	
ドイツ語学ドイツ文学	「ドイツ語読解力」、「ドイツ語表現力」、「ドイツ語学」、「ドイツ文学」の4分野について出題します。「ドイツ語学」、「ドイツ文学」については、そのうち1分野を選択します。
フランス語学フランス文学	「フランス語読解力」、「フランス語表現力」、「フランス語学」、「フランス文学」の4分野について出題します。「フランス語学」、「フランス文学」については、そのうち1分野を選択します。
言語学	英語の文献読解を含みます。
文化遺産学	英語文献読解問題を含みます。
比較文化学	英語文献読解問題を含みます。
文化人類学	英語文献読解問題を含みます。

iii) 《社会人特別選抜》【第1期募集】【第2期募集】共通

プログラム名	筆記試験		口述試験
	外国語科目	専門科目	
哲学		別表1-④から入学後専攻しようとする1科目を選択	提出された研究計画書及び受験した専門科目を中心にを行います。
心理学			
社会学			
地理学			
日本史学			
東洋史学			
西洋史学			
考古学			
日本語学			
日本文学			
中国語学			
中国文学			
英語学			
英米文学			
ドイツ語学			
ドイツ文学			
フランス語学			
フランス文学			
言語学			
文化遺産学			
比較文化学			
文化人類学			

別表1-④

専門科目	備考
哲学	外国語の文献読解力に関する問題を含むことがあります（英語、ドイツ語、フランス語から1か国語を選択）。辞書類を貸与する場合があります。
心理学	英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。
社会学	英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。
地理学	英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。 辞書類を貸与する場合があります。
日本史学	関係史料の読解を含みます。
東洋史学	研究を進める上で必要となる外国語文献及び関係史料の読解力を問うことがあります。
西洋史学	
考古学	英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。
日本語学日本文学	「日本古典文学」、「日本近代文学」、「日本語学」の3分野より2分野の問題を選択させます。
中国語学中国文学	

専門科目	備 考
英語学英米文学	
ドイツ語学ドイツ文学	「ドイツ語読解力」、「ドイツ語表現力」、「ドイツ語学」、「ドイツ文学」の4分野について出題します。「ドイツ語学」、「ドイツ文学」については、そのうち1分野を選択します。
フランス語学フランス文学	「フランス語読解力」、「フランス語表現力」、「フランス語学」、「フランス文学」の4分野について出題します。「フランス語学」、「フランス文学」については、そのうち1分野を選択します。
言語学	英語の文献読解を含みます。
文化遺産学	英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。
比較文化学	英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。
文化人類学	英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。

iv) 《外国人留学生特別選抜》【第1期募集】【第2期募集】共通

プログラム名	筆 記 試 験		口述試験
	外国語科目	専門科目	
哲 学		別表1-⑤から入学後専攻しようとする1科目を選択	提出された研究計画書及び受験した専門科目を中心にを行います。
心 理 学			
社 会 学			
地 理 学			
日 本 史 学			
東 洋 史 学			
西 洋 史 学			
考 古 学			
日 本 語 学			
日 本 文 学			
中 国 語 学			
中 国 文 学			
英 語 学			
英 米 文 学			
ド イ ツ 語 学			
ド イ ツ 文 学			
フ ラ ン ス 語 学			
フ ラ ン ス 文 学			
言 語 学			
文 化 遺 産 学			
比 較 文 化 学			
文 化 人 類 学			

別表1-⑤

専門科目	備 考
哲学	外国語の文献読解力に関する問題を含むことがあります(英語, ドイツ語, フランス語から1か国語を選択)。辞書類を貸与する場合があります。
心理学	英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。
社会学	英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。
地理学	英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。 辞書類を貸与する場合があります。
日本史学	
東洋史学	研究を進める上で必要となる外国語文献及び関係史料の読解力を問うことがあります。
西洋史学	
考古学	英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。
日本語学日本文学	「日本古典文学」, 「日本近代文学」, 「日本語学」の3分野より2分野の問題を選択させます。
中国語学中国文学	
英語学英米文学	
ドイツ語学ドイツ文学	「ドイツ語読解力」, 「ドイツ語表現力」, 「ドイツ語学」, 「ドイツ文学」の4分野について出題します。「ドイツ語学」, 「ドイツ文学」については, そのうち1分野を選択します。
フランス語学フランス文学	「フランス語読解力」, 「フランス語表現力」, 「フランス語学」, 「フランス文学」の4分野について出題します。「フランス語学」, 「フランス文学」については, そのうち1分野を選択します。
言語学	英語の文献読解を含みます。
文化遺産学	英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。
比較文化学	英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。
文化人類学	英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。

経済学専攻

i) 《一般選抜》【第1期募集】【第2期募集】共通

コース名	筆記試験	口述試験
	専門科目	
経済理論・政策コース 国際社会・経済コース 経営情報コース	別表2-①から1科目選択。入学後の研究計画に則した科目を選択してください。	提出された出願書類にもとづき、これまでの学習・研究状況や今後の研究計画について行います。

注) 試験日当日にTOEIC(L&R), TOEFL-iBT, TOEFL-PBT, IELTSのスコアの公式証明書または実用英語技能検定(英検)の合格証明書の原本(出願期間最終日から起算して2年以内に実施されたもの)を持参してください。持参がない場合、試験を受けることができません。

別表2-①

専門科目	備 考
経済理論	次の課題テキストの内容に関連した出題となります。ミクロ経済学に関する設問とマクロ経済学に関する設問を1問ずつ出題する形式で、両問に解答します。 ミクロ経済学：井堀利宏『入門ミクロ経済学(第2版)』(新世社, 2004年) マクロ経済学：井堀利宏『入門マクロ経済学(第3版)』(新世社, 2011年)
経済史	次の課題テキストの内容に関連した出題となります。 奥西孝至・鳩澤歩・堀田隆司・山本千映『西洋経済史』(有斐閣, 2010年) 三和良一『概説日本経済史 近現代(第3版)』(東京大学出版会, 2012年) 久保亨編『中国経済史入門』(東京大学出版会, 2012年)
国際経済	次の課題テキストの内容に関連した出題となります。 上川孝夫・藤田誠一編『現代国際金融論(第4版)』(有斐閣, 2012年) クルーグマン, P. R.・オブストフェルド, M.・メリッツ, M. J. (山形浩生・守岡桜訳)『クルーグマン国際経済学：理論と政策(原書第10版)上：貿易編』(丸善出版, 2017年)
経済政策論 (社会政策論を含む)	次の課題テキストの内容に関連した出題となります。 柳川隆・永合位行・藤岡秀英編『セオリー&プラクティス 経済政策』(有斐閣, 2017年)
経営学(会計学を含む)	経営学 次の課題テキストの内容に関連した出題となります。 伊丹敬之・加護野忠夫『ゼミナール経営学入門(第3版)』(日本経済新聞社, 2003年) 圓川隆夫『オペレーションズ・マネジメントの基礎—現代の経営工学—』(朝倉書店, 2009年) ※入学志願票には「経営学」と記入すること。
	会計学 次の課題テキストの内容に関連した出題となります。 桜井久勝『財務諸表分析(第7版)』(中央経済社, 2017年) 醍醐聰『会計学講義(第4版)』(東京大学出版会, 2008年) ※入学志願票には「会計学」と記入すること。

ii) 《社会人特別選抜》【第1期募集】【第2期募集】共通

コース名	筆記試験	口述試験
	専門科目	
経済理論・政策コース	/	別表2-②により実施します。
国際社会・経済コース		
経営情報コース		

別表2-②

口述試験等	備考
書類審査	提出された研究経過・実績報告書を審査します。
口述試験	提出された出願書類にもとづき、これまでの学習・研究状況や今後の研究計画について行います。

iii) 《外国人留学生特別選抜》【第1期募集】【第2期募集】共通

コース名	筆記試験	口述試験
	専門科目	
経済理論・政策コース	別表2-①から1科目選択。入学後の研究計画に則した科目を選択してください。	提出された出願書類にもとづき、これまでの学習・研究状況や今後の研究計画について行います。
国際社会・経済コース		
経営情報コース		

注：筆記試験及び口述試験は日本語で行われます。

地域創造学専攻

i) 《一般選抜・外国人留学生特別選抜》【第1期募集】【第2期募集】共通

コース名	筆記試験	口述試験
	専門科目	
地域創造学コース	別表3-①から入学後専攻しようとする科目1科目（第1希望の指導教員の科目）を選択	提出された研究計画書及び受験した専門科目を中心に行う。
教育支援開発学コース		

別表3-①（地域創造学コース）

専門科目	備考
地域社会学	次の課題テキストの内容に関連した基礎問題と専門問題から出題します。 地域社会学会編『新版キーワード地域社会学』（ハーベスト社，2011年）
公共社会学	次の課題テキストの内容に関連した基礎問題と専門問題から出題します。 武川正吾著『政策志向の社会学』（有斐閣，2012年），坪洋一著『福祉国家』（法律文化社，2012年）
国際社会学	次の課題テキストの内容に関連した基礎問題と専門問題から出題します。 梶田孝道（編）『新・国際社会学』（名古屋大学出版会，2005年） 宮島喬ほか（編）『国際社会学』（有斐閣，2015年）
社会保障論	基礎問題と専門問題から出題します。
社会福祉学	基礎問題と専門問題から出題します。

専門科目	備 考
福祉・医療社会学	次の課題テキストの内容に関連した基礎問題と専門問題から出題します。 武川正吾著『福祉社会—包摂の社会政策 新版』（有斐閣，2011年），中川輝彦・黒田浩一郎（編著）『よくわかる医療社会学』（ミネルヴァ書房，2010年）
環境政策論	基礎問題と専門問題から出題します。
地域コミュニティ論	基礎問題と専門問題から出題します。
地域法学	基礎問題と専門問題から出題します。
地域居住学	基礎問題と専門問題から出題します。
文化動態論	基礎問題と専門問題から出題します。
人文地理学	基礎問題と専門問題から出題します。
自然地理学	基礎問題と専門問題から出題します。
農村計画論	基礎問題と専門問題から出題します。
スポーツ社会学	次の課題テキストの内容に関連した基礎問題と専門問題から出題します。 森川貞夫・佐伯聡夫編著『スポーツ社会学講義』（大修館書店，1988年）
スポーツ経営学	次の課題テキストの内容に関連した基礎問題と専門問題から出題します。 八代勉・中村平編『体育・スポーツ経営学講義』（大修館書店，2002年） 山下秋二・中西純司ほか編『改訂版スポーツ経営学』（大修館書店，2006年）
健康増進科学	健康科学（運動生理学・生化学，応用生命科学を含む）に関する基礎問題と専門問題から出題します。
健康栄養学	基礎問題と専門問題から出題します。
健康教育学	基礎問題と専門問題から出題します。
コミュニティ・デザイン論	基礎問題と専門問題から出題します。
国際障害学	基礎問題と専門問題から出題します。
スポーツ・健康科学	運動生理学・生化学（特に運動器），運動処方に関連した基礎問題と専門問題から出題します。

別表3-①（教育支援開発学コース）

専門科目	備 考
幼児心理学	幼児期の発達の理論に関する基礎問題と専門問題から出題します。
教育臨床心理学	教育領域を主とした臨床心理学に関する基礎問題と専門問題から出題します。
健康科学	児童生徒等を対象とした教育領域における健康科学に関する基礎問題と専門問題から出題します。
生活指導論	次の課題テキストの内容に関連した出題となります。 山下政俊・湯浅恭正編『新しい時代の教育の方法』（ミネルヴァ書房，2012年），山本敏郎他著『新しい時代の生活指導』（有斐閣アルマ，2014年）
環境教育論	基礎問題と専門問題から出題します。
教育行政学	地方教育行政に関わる基礎問題と専門問題から出題します。
教育史	基礎問題と専門問題から出題します。
近現代教育思想	基礎問題と専門問題から出題します。
国語科教育	小中学校における国語科教育に関する基礎問題と専門問題から出題します。

専門科目	備 考
アジア文化論	基礎問題と専門問題から出題します。
数学科教育	算数・数学科教育に関する基礎問題と専門問題から出題します。
生活機能賦活研究論	発達と障害，生活に関わる基礎問題と専門問題から出題します。
言語障害支援論	言語・コミュニケーション障害のアセスメント及び支援に関する基礎問題と専門問題から出題します。
生活文化論	生活文化に関する基礎問題と専門問題から出題します。
消費生活論	消費生活，消費者教育に関する基礎問題と専門問題から出題します。
保育学	基礎問題と専門問題から出題します。
衣生活学	基礎問題と専門問題から出題します。
地域工芸建築論	基礎問題と専門問題から出題します。
地域芸術絵画論	基礎問題と専門問題から出題します。
地域芸術彫刻論	基礎問題と専門問題から出題します。
地域芸術デザイン論	基礎問題と専門問題から出題します。
地域芸術音楽論	音楽を含む，あらゆる歌唱活動について基礎問題と専門問題から出題します。
身体運動心理学	次の課題テキストの内容に関連した基礎問題と専門問題から出題します。 杉原隆著『運動指導の心理学』（大修館書店，2003年）
バイオメカニクス	基礎問題と専門問題から出題します。
スポーツ教育学	基礎問題と専門問題から出題します。
運動神経生理学	次の課題テキストの内容に関連した基礎問題と専門問題から出題します。 金澤一郎・宮下保司慣習『カンテル神経科学』（メディカルサイエンスインターナショナル，2014年）
体育・スポーツ哲学	次の課題テキストの内容に関連した基礎問題と専門問題から出題します。 近藤良享『スポーツ倫理』（不昧堂，2012年）

ii) 《社会人特別選抜》【第1期募集】【第2期募集】共通

コース名	筆記試験	口述試験
	専門科目	
地域創造学コース	/	別表3-②により実施します。
教育支援開発学コース		

別表3-②

口述試験等	備 考
書類審査	提出された研究経過・実績報告書を審査します。
口述試験	提出された出願書類にもとづき，これまでの学習・研究状況や今後の研究計画について行います。

国際学専攻

《一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜》【第1期募集】【第2期募集】共通

コース名	分野又は区分	筆記試験	
		専門科目	口述試験
国際関係・地域研究コース	国際関係学／アジア地域研究／米英地域研究／ヨーロッパ地域研究	別表4-①から入学後専攻しようとする科目1科目（希望する指導教員の科目）を選択	提出された研究計画書，卒業論文またはそれに代わる研究レポート等の内容及び受験した専門科目を中心に行います。
日本語教育・日本文化研究コース	日本語教育学・日本語学・日本文化学	別表4-②を参照	

別表4-①

専門科目	備考
国際関係学	一部に英語の問題を出題します。
アジア地域研究	一部に中国語または朝鮮語の問題を出題します（1言語を選択）。*
米英地域研究	一部に英語の問題を出題します。
ヨーロッパ地域研究	一部にドイツ語，フランス語，スペイン語，イタリア語の問題を出題します（1言語を選択）。*

*の言語については，事前に入学志願票にて選択します。

別表4-②

専門科目	備考
日本語教育学・日本語学・日本文化学	受験者の専門に応じて，日本語教育学，日本語学，日本文化学から問題を選択します。なお，日本文化学については，遠山淳史他『日本文化論キーワード』（有斐閣，2009年）および石澤靖治『日本人論・日本論の系譜』（丸善出版，1997年）に関連した内容を出題します。

（2）短期（1年）在学型選抜（各専攻共通）

入学者の選抜は，口述試験，成績証明書，研究計画書等を総合して判定します。

地域創造学専攻は，提出された研究経過・実績報告書も加味して判定します。

口述試験は，提出された研究計画書を中心に行います。

事前相談について

本選抜方法での入学を希望する者については，出願書類提出時までに指導希望教員と履修計画等について事前に相談することを推奨します。

(3) 学内推薦特別選抜（各専攻共通）

入学者の選抜は、書類選考及び口述試験を総合して行います。

先に出願資格審査を行い、審査結果を第1期募集は2019年6月20日（木）に、第2期募集は2020年1月23日（木）に志願者へアカンサスポータルで通知します。出願資格を有する者に対し、試験日に口述試験を実施します。

- ・書類選考 成績証明書、研究計画書及び推薦書等により書類選考を行います。
- ・口述試験 提出された研究計画書を中心に行います。

9 試験日時

(1) 試験日

区 分	試 験 日
第1期募集	2019年7月6日（土）
第2期募集	2020年2月8日（土）

(2) 試験科目、試験時間

【一般選抜，社会人特別選抜，外国人留学生特別選抜】

専 攻 名	試 験 科 目		試 験 時 間
人文学専攻 (第1期募集)	筆記試験	専門科目	9:30 ~ 12:30
		外国語科目	13:30 ~ 14:30
	口述試験		※1 14:00~
			※2 15:00~
人文学専攻 (第2期募集)	筆記試験	専門科目	9:30 ~ 12:30
	口述試験		14:00 ~
経済学専攻 (第1・2期募集)	筆記試験	専門科目	10:30 ~ 12:30
	口述試験		14:00 ~
地域創造学専攻 (第1・2期募集)	筆記試験	専門科目	10:30 ~ 12:30
	口述試験		14:00 ~
国際学専攻 (第1・2期募集)	筆記試験	専門科目	9:30 ~ 12:30
	口述試験		14:00 ~

注) ※1 外国語試験を課さないプログラム

※2 外国語試験を課すプログラム

【短期（1年）在学型選抜】

専 攻 名	試 験 科 目	試 験 時 間
経済学専攻 (第1・2期募集)	口述試験	14:00 ~
地域創造学専攻 (第1期募集)	口述試験	14:00 ~

【学内推薦特別選抜】

専 攻 名	試 験 科 目	試 験 時 間
経済学専攻 (第1・2期募集)	口述試験	14:00 ~

10 試験場

金沢大学大学院人間社会環境研究科（人間社会第1講義棟及び第2講義棟）
（金沢大学Webサイトを参照してください。詳細は受験票送付の際にお知らせします。）

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/access/>

11 合格者発表

区 分	日 時
第1期募集	2019年7月31日（水） 10時
第2期募集	2020年3月 2日（月） 10時

【注】 本学所定の掲示板（人間社会第2講義棟1階学生課前）に掲示するとともに、下記Webサイトに掲載します。

また、合格者に対し、郵便で通知します。

なお、電話、電子メール等による合否の問い合わせには一切応じません。

金沢大学人間社会環境研究科Webサイト>入試情報>博士前期課程

http://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/admissions/adm_master/

12 入学手続

入学手続期間及び手続き方法については、第1期募集合格者へは2月上旬、第2期募集合格者へは合格通知時に「大学院入学・進学手続要項」によりお知らせします。

なお、海外在住の外国人留学生は、合格後に銀行口座残高証明書（残高100万円以上）の提出が求められます（在留資格認定証明書（COE）交付申請のため）。

13 入学時に必要な経費

(1) 入 学 料 282,000円

【注】 1 上記の納付金額は予定額であり、入学時に入学料が改定された場合には、改定時から新入学料が適用されます。

2 入学料については、徴収猶予又は免除の制度があります。

3 海外から送金する場合は、巻末の問い合わせ先に余裕をもって事前相談してください。

(2) その他の経費

本学では学生生活における事故等に備え、必要な保険に加入することを強く推奨しております。

学生教育研究災害傷害保険料（2年分） 1,750円

（短期（1年）在学型は、（1年分） 1,000円）

14 授業料の納入

授業料の納入方法は、本学指定の銀行が、学生等の開設した預金口座から自動的に授業料を口座振替する「預金口座振替」となっています。手続きについては、「大学院入学・進学手続要項」とともに送付するパンフレット「授業料の納入について」を参照してください。

授業料（前期分） 267,900円 （授業料年額 535,800円）

【注】 1 上記の金額は予定額であり，入学時又は在学中に授業料が改定された場合には，改定時から新授業料が通用されます。

2 授業料については，免除の制度があります。

15 入学後に必要な経費

英語外部検定試験受験料（実費）

※本研究科では英語能力強化の一環として，原則，博士前期課程の学生全員に，英語の外部検定試験を受験することを義務付けています。ただし，条件に該当する者は受験を免除されることがあります。

※学内の各種助成制度により，受験料の一部又は全部の補助を受けられる可能性があります。

16 共通事項

（1）標準修業年限

人間社会環境研究科（博士前期課程）の標準修業年限は2年です。ただし，優れた研究業績を上げた者については，1年で修了することが認められる場合があります。

（2）大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例制度

本研究科では，在職者等必要がある者に対して，大学院での学修を容易とするための「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」の制度があります。この制度を利用することで，人間社会環境研究科規程等に定められた教育課程に基づき，担当指導教員の許可・指導の下で弾力的に学修することができます。

制度の適用について，入学志願票の14条特例希望欄にしてください。

また，在職証明書【様式2】を提出してください。

参考：大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）「抄」

第14条 大学院の課程においては，教育上特別の必要があると認められる場合には，夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

なお，同第2条の2（専ら夜間において教育を行う大学院の課程）には該当しません。

本研究科は昼夜開講制です。

（3）長期履修制度

人間社会環境研究科（博士前期課程）では，短期在学型（1年）を除いて，標準修業年限内での修学が困難な事情にある者に，次のとおり標準修業年限を超えて履修を認める特別な制度があります。制度の適用について，入学志願票の長期履修制度希望欄にしてください。

① 対象となる学生

ア 入学時において社会人有職者であって（臨時雇用を含む。），職務上の事情により著しく学修時間の制約を受ける者

イ 家事，育児，介護等に従事している者で，その事情により著しく学修時間の制約を受ける者

ウ その他，本研究科において長期履修学生として認定できると認められる事由がある者

② 長期履修の期間

人間社会環境研究科（博士前期課程）における長期履修の期間は，3年又は4年とします。

③ 授業料

標準修業年限により修学する場合と授業料の総額は同じです。

ただし，在学中に授業料が改定された場合は，改定後の授業料の額に基づき再計算されます。

【注】長期履修希望者の申請は、場合によっては許可されないこともあります。

(4) 心身に障がいのある志願者等の事前相談

心身に障がいのある志願者等で、受験及び修学に特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、第1期募集については2019年5月17日（金）までに、第2期募集については2019年11月27日（水）までに、次の書類を金沢大学人間社会系事務部学生課入試係へ提出し、相談してください。

- i. 申請書（次の事項及び連絡先について記載したもの、様式は自由）
 - 志願する専攻名及び、志望するコースまたはプログラム名
 - 障がいの種類・程度
 - 受験及び修学に特別な配慮を希望する事項
 - 出身大学等でとられていた特別措置
 - 日常生活の状況
 - その他参考となる事項
- ii. 医師の診断書
- iii. その他参考書類（障害者手帳の写し等）

(5) 奨学金について（外国人留学生対象）

金沢大学独自の奨学金制度

金沢大学は外国人留学生を対象として、奨学金制度を設けています。
詳しくは以下のWebサイトを参照してください。

<http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ie/j/abroad/scholarship.html>

(6) 注意事項

- ① 一般選抜，社会人特別選抜，外国人留学生特別選抜，学内推薦特別選抜，短期（1年）在学型選抜は，各募集期での併願はできませんので，いずれか一つを選択し，出願してください。
- ② 出願書類受理後は，書類の返却，記載事項の変更，及び入学検定料の払い戻しには応じられません。
ただし，入学検定料の振込後，出願を取り止めた場合は返還手続を行うことができますので，下記まで連絡してください。なお，返還手続の際は「領収書（本人控）」及び「振込金証明書（提出用）」が必要になります。
金沢大学財務部財務管理課出納係
〒920-1192 金沢市角間町 電話076-264-5059, 5060
- ③ 選抜試験において筆記試験が課せられている場合には，筆記試験を受験しなければ，口述試験は受験できません。
- ④ 出願書類に虚偽の記載，不正申告をした者及び入学試験において不正な行為を行った事実が判明した者については，入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。その場合，振り込まれた入学料は返納しません。

(7) 過去の試験問題の公表

過去の筆記試験問題については，下記Webサイトを参照してください。

金沢大学人間社会環境研究科Webサイト>入試情報>博士前期課程

http://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/admissions/adm_master/

17 個人情報の保護

金沢大学では、「国立大学法人金沢大学個人情報管理規程」等を制定し、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続き時に提出していただく書類に記載されているすべての個人情報は、次の業務で利用します。

- ① 入学者選抜及び入学手続きに関わる業務
- ② 入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務
- ③ 入学後の本学ポータルサイト利用、学内LAN利用、図書館利用及び図書貸出し等の学内サービス業務
- ④ 入学料免除、授業料免除、奨学生選考等の修学支援に関わる業務
- ⑤ 入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
- ⑥ 入学者選抜に関する個人が特定できない形で行う調査研究業務
- ⑦ 卒業（修了）生に対する学習成果等調査（アウトカムズ・アセスメント）、同窓会活動への支援等に関する業務
- ⑧ その他、個人が特定できない形で行う統計処理業務

18 参考資料

入学 年度	人文学専攻			経済学専攻			地域創造学専攻			国際学専攻		
	入学 志願 者数	合格 者数	入学 者数	入学 志願 者数	合格 者数	入学 者数	入学 志願 者数	合格 者数	入学 者数	入学 志願 者数	合格 者数	入学 者数
25年度 (第1期)	6	4	3	7	4	4	8	5	3	4	2	2
25年度 (第2期)	16	15	14	6	2	2	15	7	7	12	6	6
26年度 (第1期)	13	10	9	5	2	1	4	3	3	4	3	3
26年度 (第2期)	20	15	12	7	2	2	12	6	6	7	7	7
27年度 (第1期)	13	11	9	5	2	2	6	4	3	6	6	5
27年度 (第2期)	11	8	6	7	2	2	6	5	5	5	4	4
28年度 (第1期)	7	7	6	8	6	6	2	0	0	4	4	3
28年度 (第2期)	12	8	7	8	4	4	5	2	2	4	3	3
29年度 (第1期)	13	9	6	6	4	4	5	3	2	4	4	4
29年度 (第2期)	12	7	7	11	3	3	12	6	5	7	5	5
30年度 (第1期)	13	13	13	4	1	1	16	10	9	7	5	5
30年度 (第2期)	7	4	4	5	2	2	10	9	8	5	3	3
31年度 (第1期)	9	9	8	4	4	4	5	4	4	4	3	3
31年度 (第2期)	16	8	8	14	8	7	11	8	8	3	3	2

19 主な授業科目及び担当教員

(1) 人文学専攻

プログラム・コース	授 業 科 目	担当教員
A. 学際総合型プログラム 認知科学	比較認知特論 1	谷内 通
	認知神経科学特論 1	小島 治幸
	認知臨床心理学特論 1	荒木友希子
	認知言語科学基礎 1	阪上るり子
	認知文法論基礎 1	堀田 優子
	認知言語学特論 1	渋谷 良方
	言語類型論基礎 1	入江 浩司
	言語構造分析特論 1	高山 知明
	言語認知実験特論 1	安永 大地
	調査データ収集分析法 1	小林 大祐
	臨床神経心理学特論 1	松井 三枝
	言語定量分析演習 1	(松田真希子)
	ヨーロッパ・東アジア文化圏史	近代日本帝国史特論1
東アジア文化圏史特論 I a1		安部聡一郎
東アジア文化圏史特論 II a1		古市 大輔
正教世界史特論 I 1		根津由喜夫
ヨーロッパ中世社会史特論 I 1		田中 俊之
イギリス帝国史特論 I 1		堀内 隆行
比較文学	比較文学特論 I a1	
	比較文学特論 I b1	鈴木 暁世
	比較文学特論 I c1	杉山 欣也
	比較文学特論 I d1	飯島 洋
	比較文学特論 II 1	上田 望
	比較文学特論 III 1	宮澤 優樹
	比較文学特論 IV a1	(志村 恵)
	比較文学特論 IV b1	佐藤 文彦
	比較文学特論 V a1	(粕谷 雄一)
	比較文学特論 V b1	岩津 航
ジェンダー学	ジェンダー表象論1	(久保 拓也)
	ジェンダー地理学1	神谷 浩夫
	児童文学とジェンダー1	(大藪 加奈)
	環境思想とジェンダー1	(結城 正美)
	仕事とジェンダー1	岩本 健良
	福祉社会とジェンダー1	(高橋 涼子)
	国際人権法とジェンダー特論1	(谷口 洋幸)
	日本近代文学とジェンダー演習1	鈴木 暁世

☆

☆

プログラム・コース	授 業 科 目	担当教員
文化資源学	伝承文化資源学Ⅰ1	
	伝承文化資源学Ⅱ1	西本 陽一
	伝承文化資源学Ⅲ1	
	形態文化資源学Ⅰ1	菅原 裕文
	形態文化資源学Ⅱ1	河合 望
	形態文化資源学Ⅲ1	中村 誠一
	文化資源情報学Ⅰ1	森 雅秀
	文化資源情報学Ⅱ1	矢口 直道
	文化資源情報学Ⅲ1	森 雅秀
B. 専門深化型プログラム 哲学	西洋哲学特論Ⅰ1	山本 英輔
	現代哲学特論1	佐々木 拓
	西洋哲学史Ⅰ1	三浦 要
心理学	学習心理学特論1	谷内 通
	実験心理学特論1	小島 治幸
	人格心理学特論1	岡田 努
	臨床心理学特論1	荒木友希子
社会学	データ分析基礎論1	小林 大祐
	理論社会学特論1	轟 亮
地理学	地理学特論Ⅰ1	神谷 浩夫
	地理学特論Ⅲ1	中島 弘二
	地理学特論Ⅴ1	宇根 義己
	地理学特論Ⅷ1	吉田 国光
日本史学	日本古代中世史Ⅱ1	平瀬 直樹
	日本近世近代史Ⅱ1	能川 泰治
	日本古代史演習Ⅰ1	吉永 匡史
	日本近世史演習Ⅰ1	上田 長生
東洋史学	東洋史学特論Ⅰa1	安部聡一郎
	東洋史学特論Ⅱa1	(古畑 徹)
	東洋史学特論Ⅲa1	古市 大輔
西洋史学	地中海世界史特論Ⅰ1	根津由喜夫
	西洋中世史特論Ⅰ1	田中 俊之
	西洋近代史特論Ⅰ1	堀内 隆行
考古学	比較考古学特論Ⅱ1	中村 慎一
	地域考古学特論Ⅱ1	足立 拓朗
日本語学日本文学	日本語学特論Ⅰ1	高山 知明
	現代日本語学特論Ⅰ1	
	日本古典学特論Ⅰ1	
	日本近代文学特論1	鈴木 暁世
	日本現代文学特論1	杉山 欣也
	日本近現代文学特論Ⅰ	飯島 洋

☆

プログラム・コース	授 業 科 目	担当教員
中国語学中国文学	中国文化環境学1	加納 希美
	中国文学史各論Ⅰ1	上田 望
	中国文学各論Ⅱ1	叶 文希
英語学英米文学	英語学序説Ⅰa	渋谷 良方
	英語学特論Ⅰa	堀田 優子
	英米言語文化研究Ⅰa	宮澤 優樹
	英米文化演習Ⅰa	(アベ・デヴィッド)
ドイツ語学ドイツ文学	ドイツ語学研究論1	西出 佳代
	ドイツ文学研究論Ⅰ1	佐藤 文彦
	ドイツ文学研究論Ⅱ1	(志村 恵)
	ドイツ語運用力演習Ⅰ1	テーレン・ティモ
フランス語学フランス文学	フランス語学Ⅰ1	阪上るり子
	フランス文学Ⅰa1	(粕谷 雄一)
	フランス文学Ⅰb1	岩津 航
言語学	個別言語特論Ⅰ1	入江 浩司
	言語学特論Ⅰ1	新田 哲夫
	言語学特論Ⅱ1	(峯 正志)
	言語科学研究1	安永 大地
文化遺産学	芸術学特論1	菅原 裕文
	文明学特論1	河合 望
	文化遺産学特論Ⅰ1	中村 誠一
比較文化学	比較文化史1	森 雅秀
	宗教造形論1	矢口 直道
	民族文化論1	
	文化交流史演習1	森 雅秀
文化人類学	文化動態論1	
	地域社会動態論1	西本 陽一
	文化構造論1	

☆

注1 () を付した教員は他専攻の専任教員ですので、原則、指導希望教員には指名できません。

ただし、理由により認める場合がありますので、指導を希望する場合には、事前に巻末の問い合わせ先にご相談ください。

2 氏名欄右の★は、2021年3月に退職予定の教員、☆は、2022年3月に退職予定の教員です。

(2) 経済学専攻

氏名欄右の◆は、経済学専攻専任教員のうち、短期（1年）在学型プログラムにもとづく院生を受入れる教員です。なお、短期（1年）在学型プログラムでは、経済理論・政策コースが地域政策プログラム、経営情報コースが経営情報プログラムとなります。

プログラム・コース	授 業 科 目	担当教員	
経済理論・政策コース	現代経済理論特論a-1	瀬尾 崇	
	ミクロ経済学特論a-1	前田 隆	★
	マクロ経済学特論a-1	大木 一慶	
	経済統計学特論a-1	星野 申明	
	金融経済特論a-1	塩谷 雅弘	
	地域経済特論a-1	佐無田 光	◆
	応用ミクロ経済学特論a-1	藤澤美恵子	
	金融制度特論a-1	加藤 峰弘	
	地方財政特論a-1	武田 公子	◆
	観光情報学特論a-1	井出 明	
	社会資本特論a-1	碓山 洋	◆
	環境経済特論a-1	市原あかね	◆
	生活経済特論a-1		◆
	社会保障特論 I	(村上 慎司)	
	社会福祉学特論 I	(森山 治)	
国際社会・経済コース	国際公共経済特論a-1	吉居 史子	
	世界経済特論a-1	正木 響	
	日本経済史特論a-1	小林 信介	
	西洋経済史特論a-1		
	アジア経済史特論 I a	(弁納 才一)	
	国際金融特論a-1	佐藤 秀樹	
	国際貿易特論 I a	(加藤 篤行)	
	東アジア社会情報論特論 I a	(南 相璽)	
	対照社会言語学特論 I a	(西嶋 義憲)	
経営情報コース	経営管理特論a-1		◆
	会計学原理特論a-1	竹島 貞治	◆
	財務会計特論a-1	佐藤 清和	◆
	組織戦略特論a-1	白石 弘幸	◆
	マーケティング特論a-1	金間 大介	◆
	情報科学特論a-1	寒河江雅彦	◆
	生産システム特論a-1	柳 在圭	◆
	管理会計特論a-1	阪口 博政	
	ビジネスファイナンス特論a-1	松浦 義昭	◆

注1 ()を付した教員は他専攻の専任教員ですので、原則、指導希望教員には指名できません。

ただし、理由により認める場合がありますので、指導を希望する場合には、事前に巻末の問い合わせ先にご相談ください。

2 氏名欄右の★は、2021年3月に退職予定の教員、☆は、2022年3月に退職予定の教員です。

(3) 地域創造学専攻

氏名欄右の◆は、地域創造学専攻専任教員のうち、短期（1年）在学型プログラムにもとづく院生を受入れる教員です。

プログラム・コース	授 業 科 目	担当教員	
地域創造学コース	地域社会学特論 I	眞鍋 知子	◆
	公共社会学特論 I	田邊 浩	◆
	国際社会学特論 I	眞住 優助	
	社会保障特論 I	村上 慎司	
	社会福祉学特論 I	森山 治	◆
	福祉政策特論 I		
	医療社会学特論 I	高橋 涼子	
	ミクロ経済学特論 I	(前田 隆)	★
	地域経済学特論 I	(佐無田 光)	
	環境経済特論 I	(市原あかね)	
	環境政策特論 I	大野 智彦	
	地域社会と法特論 I	石川多加子	
	地域政策特論 I	(神谷 浩夫)	☆
	地域づくり特論 I	蜂屋 大八	
	地域居住学特論 I	山岸 雅子	◆
	文化動態論特論 I	田村うらら	
	人文地理学特論A I	(伊藤 悟)	☆
	人文地理学特論B I	林 紀代美	◆
	自然地理学特論 I	青木 賢人	◆
	環境と農村特論 I	林 直樹	
	スポーツ社会学特論 I	佐川 哲也	◆
	スポーツ経営学特論 I	藤谷かおる	
	健康増進科学特論 I	増田 和実	◆
	健康栄養学特論 I	寺沢なお子	
	健康教育学特論 I	岩田 英樹	
	スポーツ健康科学特論 I	芝口 翼	
	コミュニティ・デザイン特論 I	丸谷 耕太	
	国際協力学特論 I	堤 敦朗	
	現代社会特論 I	田邊 浩	
	現代コミュニティ特論 I	眞鍋 知子	
	移民研究特論 I	眞住 優助	
	生活保障システム特論 I	村上 慎司	
	福祉社会とジェンダー I	高橋 涼子	
	社会福祉方法特論 I	森山 治	
健康と人権 I			
地域・個人・法特論 I	石川多加子		
地域人口学特論 I	(神谷 浩夫)	☆	
地理情報学特論 I	(伊藤 悟)	☆	
地域資源活用特論 I	林 紀代美		

プログラム・コース	授 業 科 目	担当教員
地域創造学コース	農村計画特論 I	林 直樹
	地域基盤安全評価特論 I	(佐々木敏彦)
	自然環境特論 I	青木 賢人
	環境経済政策特論 I	(市原あかね)
	環境思想特論 I	大野 智彦
	住生活学特論 I	山岸 雅子
	地方財政特論 I	(武田 公子)
	社会資本特論 I	(碓山 洋)
	地域基盤形成特論 I	蜂屋 大八
	スポーツ政策特論 I	佐川 哲也
	スポーツマーケティング特論 I	藤谷かおる
	運動適応科学特論 I	増田 和実
	食品機能学特論 I	寺沢なお子
	健康行動学特論 I	岩田 英樹
	健康運動処方特論 I	芝口 翼
	文化人類学特論 I	田村うらら
	自然文化ツーリズム特論 I	丸谷 耕太
	国際障害学特論 I	堤 敦朗
	環境と社会特論 I	菊地 直樹
教育支援開発学コース	幼児発達臨床特論 I	浅川 淳司
	心理援助法特論 I	原田 克巳
	子ども環境学特論 I	
	学校行事・教科外活動支援特論 I	上森さくら
	環境教育特論 I	土井 妙子
	地方教育行政特論 I	土屋 明広
	教育福祉史特論 I	鳥居 和代
	教育と市民性特論 I	平石 晃樹
	生活機能賦活研究特論 I	吉川 一義
	アセスメント特論 I	小林 宏明
	インクルーシブ教育特論 I	
	国語教育特論 I	折川 司
	アジア表現文化特論 I	原田 愛
	数学教育特論 I	伊藤 伸也
	生活文化特論 I	綿引 伴子
	消費生活特論 I	尾島 恭子
	保育学特論 I	滝口 圭子
	衣生活学特論 I	森島 美佳
	地域工芸建築特論	鷺山 靖
	地域芸術絵画特論	大村 雅章
	地域芸術彫刻特論	江藤 望
	地域芸術デザイン特論	池上 貴之
	地域芸術声楽特論 I	安藤 常光

★

プログラム・コース	授 業 科 目	担当教員
教育支援開発学コース	地域芸術作編曲特論Ⅰ	浅井 暁子
	運動力学特論Ⅰ	山田 哲
	運動学習制御特論Ⅰ	村山 孝之
	スポーツ教育学特論Ⅰ	横山 剛士
	運動神経生理学特論Ⅰ	木村 岳裕
	武道文化特論Ⅰ	小田 佳子
	幼児発達科学特論Ⅰ	浅川 淳司
	教育心理臨床特論Ⅰ	原田 克巳
	応用健康科学特論Ⅰ	
	地域生活指導特論Ⅰ	上森さくら
	地域環境教育特論Ⅰ	土井 妙子
	法と社会特論Ⅰ	土屋 明広
	学校と地域史特論Ⅰ	鳥居 和代
	近現代社会哲学特論Ⅰ	平石 晃樹
	肢体不自由支援特論Ⅰ	吉川 一義
	言語障害支援特論Ⅰ	小林 宏明
	知的障害支援特論Ⅰ	
	発達障害指導法特論Ⅰ	吉村 優子
	ことばと学校教育特論Ⅰ	折川 司
	漢文教育特論Ⅰ	原田 愛
	数学文化特論Ⅰ	伊藤 伸也
	生活文化教育特論Ⅰ	綿引 伴子
	消費者教育特論Ⅰ	尾島 恭子
	発達と保育特論Ⅰ	滝口 圭子
	衣生活材料学特論Ⅰ	森島 美佳
	地域工芸建築特論Ⅱ	鷲山 靖
	地域芸術絵画特論Ⅱ	大村 雅章
	地域芸術彫刻特論Ⅱ	江藤 望
	地域芸術デザイン特論Ⅱ	池上 貴之
	地域芸術音楽特論Ⅱ	安藤 常光
	地域芸術作編曲特論Ⅱ	浅井 暁子
	コーチングバイオメカニクス特論Ⅰ	山田 哲
	スポーツメンタルマネジメント特論Ⅰ	村山 孝之
	スポーツ神経科学特論Ⅰ	木村 岳裕
	体育・スポーツ哲学特論Ⅰ	小田 佳子
	スポーツ学習支援特論Ⅰ	横山 剛士

注1 () を付した教員は他専攻の専任教員ですので、地域創造学専攻の指導教員には指名できません。

2 希望する指導教員に選択すべき専門科目について確認すること等のために、事前に連絡することが望ましい。

3 氏名欄右の★は、2021年3月に退職予定の教員、☆は、2022年3月に退職予定の教員です。

(4) 国際学専攻

プログラム・コース	授 業 科 目	担当教員
国際関係・地域研究コース	国際関係特論Ⅱa	中野 涼子
	国際政治史（東洋）特論Ⅰa	宋 安鍾
	国際政治史（西洋）特論Ⅰa	岡本 宜高
	※比較政治学特論Ⅱa	
	西洋経済史特論Ⅰa	
	国際開発特論Ⅰa	和田 一哉
	※国際貿易特論Ⅰa	加藤 篤行
	アジア政治特論Ⅱa	古泉 達矢
	※アメリカ研究特論Ⅱa	アベ・デイヴィッド
	※アメリカ文化表象特論Ⅱa	山口 善成
	アメリカ文化批評特論Ⅰa	
	※環境表象研究特論Ⅰa	結城 正美
	国際人権法とジェンダー演習Ⅰ	谷口 洋幸
	※イギリス研究特論Ⅱa	山本 卓
	米英研究特論Ⅰa	岡本 宜高
	米英研究特論Ⅱa	久保 拓也
	東アジア地域研究特論Ⅰa	古畑 徹
	東アジア社会情報論特論Ⅰa	南 相璽
	アジア経済史特論Ⅰa	弁納 才一
	中国語圏特論Ⅰa	叶 文希
	アジア研究特論Ⅰa	
	フランス語圏特論Ⅱa	粕谷 雄一
	ドイツ語圏特論Ⅱa	志村 恵
	ドイツ語圏特論Ⅲa	テーレン・ティモ
	ヨーロッパ研究特論Ⅰa	石黒 盛久
	ヨーロッパ研究特論Ⅲa	粕谷 雄一
	地球環境論特論Ⅰa	塚脇 真二
	※比較文化研究Ⅰa	
	※History of International PoliticsⅠa	岡本 宜高
	※American PoliticsⅠa	
	※Asian PoliticsⅠa	古泉 達矢
	※International RelationsⅡa	フォックス・セナン
※International RelationsⅢa	中野 涼子	
日本語教育・日本文化研究 コース	日本語教育学特論Ⅰa	松田真希子
	日本語教授法研究特論Ⅰa	深澤のぞみ
	日本語学特論Ⅰa	(高山 知明)
	現代日本語学特論Ⅰa	
	現代日本語学特論Ⅲa	大江 元貴
	日本文化研究特論Ⅰa	清水 邦彦

☆

☆

プログラム・コース	授 業 科 目	担当教員
日本語教育・日本文化研究 コース	対照社会言語学特論 I a	西嶋 義憲
	日本学研究特論 I a	山本 洋
	日本近現代史研究特論 I a	(能川 泰治)
	日本近代文学特論 I	(杉山 欣也)
	日本語教育学演習 I a	深川 美帆
	日本語教授法研究演習 I a	太田 亨
	日本語教育実践演習 I	深澤のぞみ

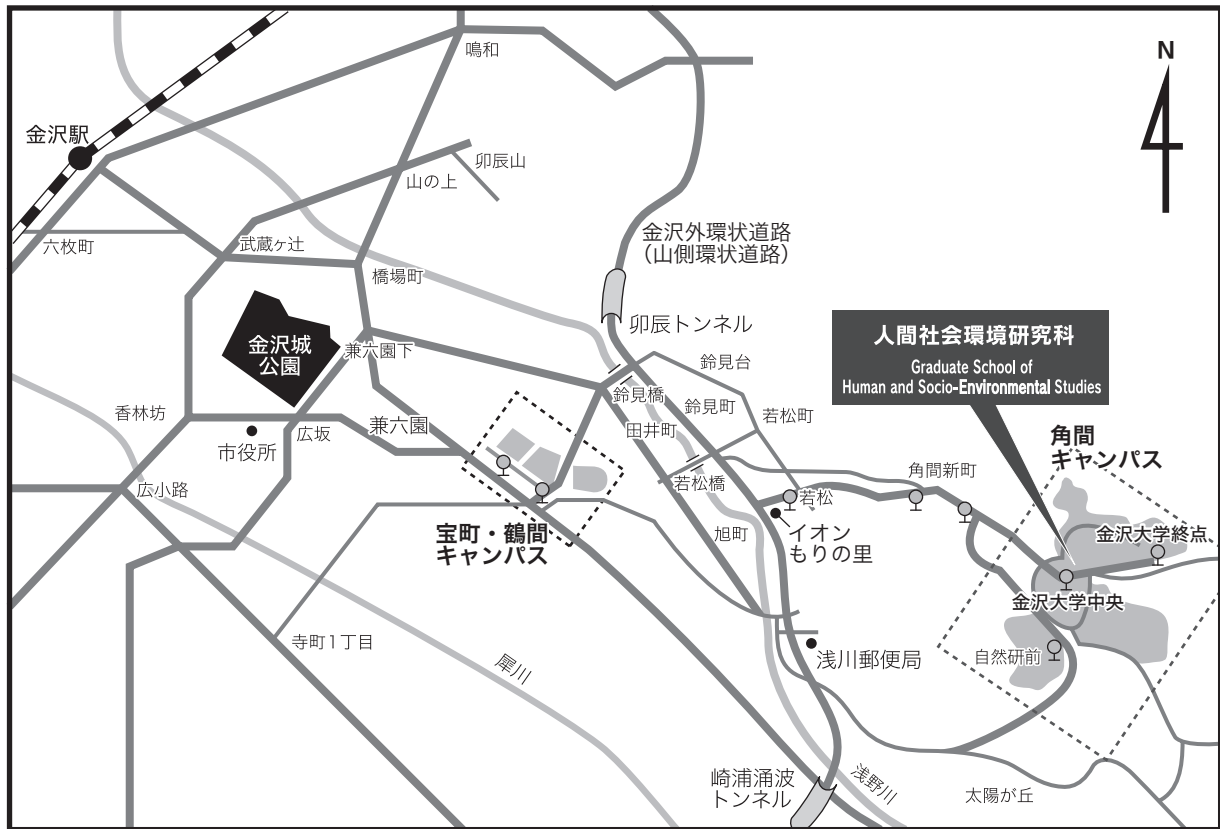
注1 () を付した教員は他専攻の専任教員ですので、原則、指導希望教員には指名できません。

ただし、理由により認める場合がありますので、指導を希望する場合には、事前に巻末の問い合わせ先にご相談ください。

2 ※を付した科目は英語による授業科目です。

3 氏名欄右の★は、2021年3月に退職予定の教員、☆は、2022年3月に退職予定の教員です。

金沢大学大学院人間社会環境研究科入学試験場案内略図



金沢大学大学院人間社会環境研究科へのアクセス

【路線バス利用】(北陸鉄道バス利用の場合)

J R 金沢駅兼六園口(東口)から北陸鉄道バス「金沢大学(角間)」行き乗車, 「金沢大学(終点)」下車, 徒歩1分(人間社会第1講義棟まで)

※「金沢大学中央」で下車した場合は, 徒歩約5分(バス所要時間約40分)

【タクシー利用】

J R 金沢駅兼六園口(東口)から約30分

問い合わせ先

かくまち

〒920-1192 金沢市角間町

金沢大学人間社会系事務部学生課入試係

T E L 076 (264) 5600~5602

F A X 076 (234) 4167

E-mail n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学大学院人間社会環境研究科Webサイト

<http://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/>